

フリーダム進学教室  
合格手帳 夏休み特集号  
6年生編



みなさん、こんにちは。

フリーダム進学教室主宰の田中です。

今回、みなさんに合格手帳の夏休み特集号をお送りします。フリーダム進学教室は、2年間でみなさんが第一志望の中学に合格するよう指導しています。そのためにはいろいろ、特別なシステムや方法があるのですが、今回はみなさんにひとつの方法をお教えしようと思います。

それが合格手帳です。

この合格手帳を使って、やるべきことを整理して優先順位をつけて勉強することができるので、時間の使い方が上手になり、勉強の結果がしっかり現れてきます。受験勉強は志望校に合格するためにやることなので、今の勉強が志望校合格にプラスになっているかどうかをつねに検討していく必要があります。みなさんはまだ育ち盛りですから、睡眠時間も必要ですし、また学校でクラブ活動をしたり、友達と遊んだり、いろいろな経験をした方がこれからの成長にはプラスになります。だからこそ、時間の使い方は上手にならなければなりません。今回は夏休みを上手に使っていく方法をみなさんといっしょに考えていきます。

さて、最初にみなさんの目標校をここに書いてください。

わたしは

中学に合格する。

5年生のみなさんはまだ決まっていなくても構いません。それでも行きたい学校があれば、ぜひ記入してください。実はここに書くだけで、合格する可能性が20%ぐらいアップするのです。

え？と思うかもしれませんが、みなさんはここに志望校を書くことで、志望校を意識することができます。

自分が今なぜ受験勉強をしているのか、といえばこの中学に入りたいからです。ということはみなさんの勉強はこの中学の入試の準備をしてふさわしいものでなければなりませんから、無駄なことは一切なくなり、効率が良くなるのです。今まで、なかなか目標を口にできなかった人もいますが、ぜひまずここに目標を書いてください。

さて、目標が決まったところで、次は何を勉強するか決めなければいけません。ただ、何が自分の勉強にあっているのか、自分で決められる人は少ないでしょう。そこで私が考え方を

説明したいと思います。

まず、6年生のみなさんに対して…。

6年生のみなさんはこの夏休み、算数と理科の計算問題をごんぱりましょう。(2教科の人は後から国語の勉強についてお話をしますので、算数と国語をごんぱります。)

なぜ、算数と理科の計算問題なのでしょう？

じつはこの2つは非常に深い関係があります。理科の計算問題は、5年生の後半から6年生のはじめにかけて、続けて勉強してきたのではないのでしょうか？なぜそうなったとかいえば、算数で比と割合を習ったからです。比と割合を習うまでは、理科の計算問題はできません。だから覚えることが多かったはずですよ。つまり理科の計算問題は比と割合を使う分野なのです。比と割合がよくわかれば、理科の計算問題はそれほど難しいわけではありません。だから算数と一緒に勉強をしてしまいたいのです。また、算数はどの教科よりも合格者平均と全体の平均が大きく離れます。これは1問1問の配点が高いからなのですが、ということは算数ができれば合格しやすい、ということになるのです。

みなさんはさきほど志望校を記入しましたが、その学校に合格するためにはまず算数ができるようになる必要があるのです。さらに言えば、算数ができるようになれば、自然と理科の計算問題もできるようになります。その分野が得意になれば、それだけ合格可能性がまた20%ぐらいアップすることになります。

ではどうやって勉強すればいいのでしょうか。算数についてまず説明をしたいと思います。

みなさんは先ほど志望校を書き込みましたから、その学校の過去問は持っているでしょう。その過去問をぜひ開いてみてください。そして次のことを確認しましょう。

算数の問題は次の2つに分類できます。

A 大問が6題から10題ぐらいあり、小問で20題ぐらい出題されている。あとに掲げる8つの分野の問題がすべて出題されている。

B 大問が4題以下で、小問が12題程度出題されている。